

研究職員(パーマネント)公募一覧表(令和5年4月)

応募No	試験研究機関名	配属研究領域	待遇	任期	研究課題名	研究内容	応募条件
1	森林総合研究所	林業研究部門 植物生態研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基 づき決定	任期の定めなし(定 年60歳)	樹木における資源の獲得・分配 に関する研究開発	樹木の成長や生残、繁殖に深く関与する炭素等 の各種資源の獲得や分配について、根圏も含め て各種物質の動態やその制御機作等に着目し て生態生理学的に解明するとともに、樹木の環 境応答特性を総合的に評価し、健全な森林の維 持・管理につなげる研究・技術開発を行う。	①採用時に博士の学位を有する者 ②樹木における各種資源の獲得・分配や 樹体内での物質動態に関する研究実績を 有する者 ③勤務地：研究所(つくば市) ④採用された場合、全国規模の転勤が可 能な者
2	森林総合研究所	林業研究部門 森林植生研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基 づき決定	任期の定めなし(定 年60歳)	林地の植物種組成に応じた更新 技術の高度化	林業経営に適さない人工林を、天然更新を利用 しつつ、針広混交林などの育成複層林に導く技 術が求められている。このため、現在では不確実 性が高い天然更新について、人工林の林床植 生の種組成を的確に把握した上で、新たな技術 も用いて更新可否や将来形成される森林タイプ を予測する技術を開発する。	①採用時に博士の学位を有する者 ②植物種組成、更新過程、遷移に関する 研究実績を有する者 センシング技術に関する研究実績があれ ばより望ましい ③勤務地：研究所(つくば市) ④採用された場合、全国規模の転勤が可 能な者
3	森林総合研究所	林業研究部門 樹木分子遺伝研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基 づき決定	任期の定めなし(定 年60歳)	樹木のゲノム・エピゲノム解析に よる有用形質の遺伝基盤の解明	樹木の生物機能の解明とその利用技術に関す る課題を推進するため、全ゲノム配列やトランス クリプトーム、エピゲノムの解析により、バイオ インフォマティクスの手法を用いて、有用形質の遺 伝基盤を解明する。	①採用時に博士の学位を有する者 ②ゲノムクス・エピゲノムクスの研究実績を 有する者 ③勤務地：研究所(つくば市) ④採用された場合、全国規模の転勤が可 能な者
4	森林総合研究所	林業研究部門 林業経営・政策研究領 域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基 づき決定	任期の定めなし(定 年60歳)	木材関連産業に関する産業連関 モデルの開発	森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を図 るには、木材関連産業がSDGsに取り組み、さら に競争力強化を実現することが重要なカギとな る。この課題解決に資するため、森林セクター産 業連関モデルを開発し、木材関連産業が地域経 済、環境等に及ぼす社会経済的影響を分析、評 価する。	①採用時に博士の学位を有する者 ②林業・林産業分野における産業構造論、 産業連関分析に研究能力を有する者 ③勤務地：研究所(つくば市) ④採用された場合、全国規模の転勤が可 能な者

応募No	試験研究機関名	配属研究領域	待遇	任期	研究課題名	研究内容	応募条件
5	森林総合研究所	森林研究部門 野生動物研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	任期の定めなし(定 年60歳)	人獣共通感染症リスク低減のた めの生態系管理手法の高度化	森林生物由来の人獣共通感染症への感染が増 加しており、森林作業や利用の際の感染リスク 低減が喫緊の課題である。そのため、病原体を 保有する野生動物と媒介生物の関係や感染症 と景観や土地利用との関係の解明を通じて、人 獣共通感染症の視点を加えた生態系管理手法 の開発を行う。	①採用時に博士の学位を有する者 ②人獣共通感染症に係わる野生動物およ び媒介生物に関する研究実績を有する者 ③勤務地：研究所(つくば市) ④採用された場合、全国規模の転勤が可 能な者
6	森林総合研究所	木材研究部門 森林資源化学研究領域	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	任期の定めなし(定 年60歳)	森林資源を活用したバイオエコノ ミー推進のための新規前処理技 術の開発	森林資源から化石資源代替の様々な素材開発 の起点となりうる目的物質に最適な前処理技術 を開発し、バイオエコノミー推進に向けた研究 を担当する。	①採用時に博士の学位を有する者 ②木質資源の化学成分分離と木質成分の 用途開発に関連する経験と知識を有する 者 ③勤務地：研究所(つくば市) ④採用された場合、全国規模の転勤が可 能な者
7	森林総合研究所	戦略研究部門 新素材研究拠点	研究職員 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 職員給与規程に基づき決定	任期の定めなし(定 年60歳)	バイオベース熱可塑性高分子材 料の開発	高機能素材としてのポテンシャルの高いリグニン 系天然芳香族素材をプラスチック代替として広く 活用可能な熱可塑性樹脂市場へ展開するた め、高分子合成やコンパウンド化技術を駆使し て、高性能で加工性の高い熱可塑性高分子材 料を開発する。	①採用時に博士の学位を有する者 ②高分子材料の合成や物性評価に関する 研究実績を有する者 ③勤務地：研究所(つくば市) ④採用された場合、全国規模の転勤が可 能な者